

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和5年3月18日 (13:00~14:00)
1. 初期支援 (はじめのかかわり)	メンバー	高橋舞子・松川真美・玉木つかさ・上田雄二 小玉藍・時田由美 書面：榎本薫・内川建・池田淑子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	4人	5人	人	人	9人

前回の改善計画	①基本的な小規模の使い方「通い」を中心にというキーワードを職員全員が把握し支援を開始する。→勉強会等の活用 ②毎日の固定のミーティングの開催
前回の改善計画に対する取組み結果	①訪問中心の方へも通いのプランをたてて声掛けを行い、実際に施設をに來ることができた ②毎日のミーティングは定着し、朝の申し送り、午後のミーティングと1日の中で役割を確認したり、サービス変更を柔軟に実施できるようになった。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	6人	3人	人	人	9人
② サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	4人	5人	人	人	9人
③ 本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	5人	4人	人	人	9人
④ 本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	3人	5人	1人	人	9人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・利用開始前に利用者の情報や要望もミーティングで話し合い情報共有できたと思う。その後の状態や状況の変化にも毎日のミーティングで情報共有しケアにあたることができたと思う。 ・契約時、事前説明時にケアマネジャーと一緒に介護職員も同席し、家の状況、本人の身体状況を把握し、利用される前に話し合いをし安心してご利用いただける環境を整えた。 ・お客様の变化時に随時ご家族様へ連絡日家族からの相談も受け都度対応はしていると思う。 ・ミーティングでは特に訪問の様子の情報を共有することでそのあとの訪問に何の支援が必要なのかケアが繋がったと感じる。 	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・申し送りの書面を確認不足の職員もおり共有ミスにつながっていることもある。 ・職員が個別に得意なこともあり、個々に対応してしまったことで声掛けやケアが向上していかないこともあった。 ・利用者のとっさの行動や、強い要求に対して職員も迷いが生じ利用者を不安にさせてしまった。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・事前訪問に職員が同行し、状況を確認したり担当者会議で本人や家族の思いを聞いていく。訪問に出ない職員もいる為、同行訪問を実施しご自宅での様子を把握していく。送迎時のご家族との情報交換はもとより、メールや電話、連絡帳などで普段の様子をご家族へ伝え情報交換を図っていく。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年3月18日 (13:00~14:00)

2. 「～したい」の実現
(自己実現の尊重)

メンバー 高橋舞子・松川真美・玉木つかさ・上田雄二
小玉藍・時田由美
書面：榎本薫・内川建・池田淑子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	人	3人	6人	人	9人

前回の改善計画	①地域の感染症の制限の傾向も確認しながら、きちんと感染予防を行った中で外出を行う。 ②訪問や通いの中での外出プランニングを行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	①一人暮らしは困難と思うケースも通いを多く取り入れた中で自宅で過ごす時間を数時間でも作れるようにプランを組み現在も自宅で生活できている。 ②訪問時や通い時にも買い物やドライブなどの支援を織り交ぜて生活支援だけでなく楽しみも感じられるように支援している。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	人	5人	4人	人	9人
② 本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1人	8人	人	人	9人
③ 本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1人	4人	4人	人	9人
④ 実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	2人	7人	人	人	9人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・毎日小規模計画のチェックをして月末にプランの振り返りが毎月できている、その際に内容を検討し追加・変更を行っている。その時のその方の状況によって通い・訪問の利用検討をしてそのかたの思いに寄り添ったケアができていると思う。・訪問時の本人の言動は細かくケースに落としていると思う。・要望があれば近隣のドラッグストアに買い物へ行ったり、機構の良い時は花を見ながら散歩をした。訪問では一緒に地域の商店で買い物をしている。・ミーティングやモニタリングをすること次に向けての支援の検討ができている	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・目先の状況にとらわれてのプランになっていて最終的にどのようなゴールへ向かっているかわかりにくい・外出、行事当全体で動く嗜好が強いので個人の「～したい」が見えにくくなり実践できなかった。・プランにある本人の願いや目標を意識して確認し、本人へ聞きケアにあたるのが少ないように感じる・外出は感染症により行動や人数制限があり機会を持てなかった。本人のゴールが一体「いつ」なのかよくわからない利用者がいて支援に悩むことがある。・個々の目標や思いをヒアリングすることはできるが、実際にどう動くか具体的に行動にはつなげていなかったことも多い。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
ケアプランの本人・家族の意向を再確認し、わかりにくい表現は具体的な表現へ変更し、利用者の目標を明確にする。日々のミーティングでのケアの振り返りはできているので今後も継続していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年3月18日 (13:00~14:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 高橋舞子・松川真美・玉木つかさ・上田雄二
小玉藍・時田由美
書面：榎本薫・内川建・池田淑子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	1人	3人	5人	人	9人

前回の改善計画	・センター方式シートにて清潔な背景や生活歴の把握をし、なじみの生活やなじみの人や場所や物を把握する。シートは家族にもご協力頂きケアを活かす。新規の場合はBシートの記入をお願いしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	認知症実践者研修にてセンター方式のシートを活用し、できることと支援すればできることを把握してケアにつなげることができたが、新規の方にBシートを活用するまでに至っていない。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	人	3人	6人	人	9人
② 本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	3人	5人	1人	人	9人
③ ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1人	5人	3人	人	9人
④ 本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	5人	4人	人	人	9人
⑤ 共有された本人の気持ちや対象の変化に即時的に支援できていますか?	5人	2人	1人	1人	9人

1

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 日々のミーティングにて話し合いをして対応できている。 毎日時間を決めてミーティングができるようになった。利用者の状況を都度話し合い、ご家族と連携もできていると思う。 利用者の対応変化時はプリントアウトされている申し送りを確認でき、ミーティングでも情報共有していると思う。 	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> チーム内でも意見は様々、共有はしているが統一した支援ができていないと思うこともある センター方式が取り入れられていないので、以前の暮らしの把握ができていない。特に独居のかたへの生活環境やなじみの人や場所、趣味や物等を把握しきれていない。情報を書面化できていないため把握できていない。 本人や家族から得た情報をアセスメントシートに落とすことがない為全員が把握できていないのではないかと。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
センター方式シートを導入して「以前の暮らし方」を把握する。まずは新規の方へ導入しプランに活かす。個別の企画も立ててその人らしさを大切にす。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年3月18日 (13:00~14:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 高橋舞子・松川真美・玉木つかさ・上田雄二
小玉藍・時田由美
書面：榎本薫・内川建・池田淑子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	人	2人	7人	人	9人

前回の改善計画	①利用者の地域の最寄りの避難所の把握と災害時の安否確認の方法を明確にする ②センター方式シートにて生活の背景や生活歴を把握し、馴染みの生活やなじみの人や場所やものを把握する
前回の改善計画に対する取組み結果	①降雪の際は事前に天気予報を確認しながら事前訪問や宿泊追加、頻繁な電話での安否確認などの支援でケアを継続できたが避難所等の社会資源の把握ができなかった。 ②センター方式は研修時の選定ケースのみになり利用者全員に使用できなかったが、センター方式シートを使用したことがない職員もチームで関り記載することができた。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	人	2人	7人	人	9人
② 本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	人	6人	3人	人	9人
③ 事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	人	5人	4人	人	9人
④ 本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1人	1人	3人	4人	9人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時訪問時にご近所の方とお会いした時は挨拶をしコミュニケーションを図っている。ミーティングの時間に訪問支援の様子を申し受けできるので自宅での生活が把握できるようになった。 ・家族とは連絡帳・送迎時・電話・メールを通じて連携していると思う。 ・実践者研修に参加したことにより対象者の方の周りを取り巻く環境を知ることができた。 ・自宅で過ごす時間を少しでも設けるために長期連泊をしないように、家族と調整しながら可能な介護の時間を把握し対応している。 	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・本人の取り巻く環境がわかっても本人の支援に活かしきれていない。以前あった高りゆや習慣がもっと継続できるような支援が必要。独居の方の災害時の地域のつながり、ネットワーク、避難所等を把握できていないし、利用者本人もわかっていない。 ・利用者の地域の民生委員や地域資源を把握していない 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・センター方式のアセスメントで自宅での過ごし方を確認しプランに活かす。災害時の見守り方法もケアプランへ入れておくことで、事前の対応が可能となるのではないかと。とくに降雪時や大雨、台風などは未然に安全の確保はできそう。地震などの場合は自宅まで確認にいけない可能性があるため、独り暮らしの方の場合は利用者の近所の方へも確認をお願いしていく。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年3月18日 (13:00~14:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 高橋舞子・松川真美・玉木つかさ・上田雄二
小玉藍・時田由美
書面：榎本薫・内川建・池田淑子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	3人	4人	2人	人	9人

前回の改善計画
①基本的な小規模の使い方「通い」を中心というキーワードを職員全員が把握し支援を開始する。通いの方も関係性を構築する中で最終的に「通い」に来れるようなプランニングを行い、「通い」にこれないときは「訪問」に切り替えて柔軟に対応する。またプランには住所のある周辺の地域のニーズを把握し、インフォーマル支援もプランに入れる。 ②独居ケースは包括支援センターへ相談し小規模のケアだけで抱えない。
前回の改善計画に対する取組み結果
①日々のミーティングにて訪問拒否があれば再訪問し、状況をみて訪問通いを追加変更を日々行うことができた。ワクチン接種や降雪、ケガなどの状況により柔軟に対応できた。 ②GHへ入居した小規模利用者の家族支援は継続して実施した。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	人	3人	6人	人	9人
② ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	5人	4人	人	人	9人
③ 日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	7人	2人	人	人	9人
④ その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	7人	2人	人	人	9人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・買い物支援で最寄りのスーパーや神社へ行くことは日常的にできている。 ・業務日誌とミーティング用紙を一体化し毎日時間を決めてミーティングできるようになったことで、必要な支援ができるようになった。 ・利用者の様子に応じて臨機応変に対応できていると思う。最初は訪問も受け入れていただけなかった方も、訪問を重ねてコミュニケーションを取りながら、通いに来れるようになり、緊急時に宿泊もできるようになったのは成果だと思う。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・事業所のケアが中心で外部の社会資源を使用することが少なかった。買い物支援で最寄りのスーパーや神社へ行くことは日常的にできているがそれ以外に社会資源の活用を聞いたことがない。 ・包括支援センターとの連携は相談の他には連携がとれていないと思う。 ・職員の知識不足もあり社会資源を活用できていないのではないかと。 ・以前あった交流関係を再構築する支援は行われていないのと、どう行ってよいかわからないでいる。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
事業所のある地域と利用者の住む地域は違うため、利用者の居住の地域の社会資源を確認し、利用できるものは積極的に利用する。 利用者の交友関係を再確認する。 ・日々のミーティングは継続して、通いを追加する先にはどのような生活があるのか、訪問を入れている意味、宿泊の目的を意識し話し合い目標・ケアに活かしていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年3月18日（13:00～14:00）

6. 連携・協働

メンバー 高橋舞子・松川真美・玉木つかさ・上田雄二
小玉藍・時田由美
書面：榎本薫・内川建・池田淑子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
① 前回の課題について取り組みましたか？	人	3人	4人	2人	9人

前回の改善計画
①地域の感染症の制限の傾向も確認しながら、きちんと感染予防を行った中で交流を行う。 ②沼垂小学校の交通安全の見守りの新絵や保育園との交流を開始する。
前回の改善計画に対する取組み結果
①②対面での交流はできなかったが、運営推進会議で沼垂小学校の介護授業のお声かけがあり、小規模職員が介護授業を実践した。資料を自ら作成し自分の言葉で介護の楽しさを小学生へ伝えることができた。その後、動画での交流もあり昨年よりは活動は前進した。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
① その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	1人	2人	4人	2人	9人
② 自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	人	人	4人	5人	9人
③ 地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	人	人	2人	7人	9人
④ 登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	人	人	2人	7人	9人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・沼垂小学校の介護授業では職員が自らしりをまとめ話に行くことができとても良い経験になった。 ・訪問看護や福祉用具など担当者会議以外にも情報交換をしてケアに繋げている。医療機関とは情報提供書を活用し、記録のシステムからバイタルの一覧表をデータにしたものを受診のたびに提供している。 ・他の事業所は書面開催が多いということだったが運営推進会議は状況を鑑み、集合に切り替えていった。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・新型コロナウイルスの感染予防からイベントや町内行事が自粛され参加できていない。そのため、施設に地域の方や子供などとの交流もなく、認知症カフェの活動も足踏み状態となり活動再開まで至らなかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・各会議体へは管理者やケアマネだけでなく職員にも参加してもらい発言してもらおう。地域行事への参加と小学校の交流は対面を目指し継続する。認知症カフェを開催できることを目標に、そこから小規模の支援につながることをできればよいと思う。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年3月18日（13:00～14:00）

7. 運営

メンバー 高橋舞子・松川真美・玉木つかさ・上田雄二
小玉藍・時田由美
書面：榎本薫・内川建・池田淑子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
① 前回の課題について取り組みましたか？	人	4人	4人	1人	9人

前回の改善計画
①運営推進会議の対面開催で本人・家族・地域の意見を聞く。 ②地域行事を確認し参加する。
前回の改善計画に対する取組み結果
①書面開催が中心となり下期からは集合の開催をしたが、利用者の参加は一部にとどまった。職員も管理者にとどまり家族の参加はできなかった。 ②地域の催事は中止であり、参加できなかった。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
① 事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか？		3人	5人	1人	9人
② 利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？		8人	1人	人	9人
③ 地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？		5人	2人	3人	10人
④ 地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？		1人	3人	5人	9人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・オンラインを活用したり、運営推進会議は書面開催が多い中、感染者数が少ない期間においては集合開催をすることができた。 ・事業所のあり方は部署会議を通じて意見を出すことができている ・顧客満足度アンケートにて利用者・家族からの意見を確認できている ・ご家族様のお意見や要望は真摯に受け止め臨機応変に対応できていると感じる

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
	・管理者以外の職員が運営推進会議に参加する機会を設けられなかった ・アンケートの結果はあるがその後の取組みを職員が共通認識して取り組んでいるとは言い難い ・地域との交流がない ・施設がある場所と利用者の居住地域が違うために、利用者に密着した地域支援ができずにいる為ではないか

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
	ケアの事に関しては、職員の意見を出す場面が日々あるが、運営に関しての意見交換はほとんどないのが現状の為、部署会議などで部署目標や、やっていきたいこと、挑戦してみたいことを再度話し合う。また、運営推進会議に管理者以外の職員も参加することで意見を取り入れていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年3月18日 (13:00~14:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 高橋舞子・松川真美・玉木つかさ・上田雄二
小玉藍・時田由美
書面：榎本薫・内川建・池田淑子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	2人	7人	人	人	9人

前回の改善計画
①法人買いの研修にはオンラインや事業所内で受講できるものもあるので、情報をまとめて部署会議やミーティングなどで1年に1回はすべての職員が参加できるように計画を立てる。 ②正職員はすべて介護福祉士であるため、受験資格が得られた職員は次年度介護支援専門員への挑戦を促す。
前回の改善計画に対する取組み結果
①法人の年間研修計画に沿って研修や勉強会を実施している。今年度は法定研修はeラーニングで動画視聴しスキルアップへつなげた。その他グループの研修や認知症介護実践者研修へ参加できた。 ②介護福祉士1名受験。ケアマネジャー受験はおらず。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	5人	3人	1人	人	9人
② 資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	3人	4人	1人	1人	9人
③ 地域連絡会に参加していますか	人	人	1人	8人	9人
④ リスクマネジメントに取り組んでいますか	5人	3人	1人	人	9人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・職場内研修はeラーニングにて学習する機会がありスキルアップできている。法定研修は研修計画に組み込まれている。 ・法人主催の研修にて資格取得にチャレンジでき介護福祉士を受験した(1名) ・インシデントレポートの提出でアクシデントが防げている。変化があったらケアや環境についてもすぐに話し合いができていて事故予防に対する意識は高いと思う。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・インシデントはあがるが、職員同士の声掛けなどが薄くなると私物の忘れ物などが起きる事象があった。 ・地域の連絡会などはどのようなものがあるのかわからない。参加したことがない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
リスクの活動は継続し、集計後の内容分析をチームで行う。アクシデント分析においては再度分析手法を学び分析検討のスキルアップを図る。地域連絡会においては地域へ確認するとともに運営推進会議へ職員も参加する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年3月18日（13:00～14:00）

9. 人権・プライバシー

メンバー 高橋舞子・松川真美・玉木つかさ・上田雄二
小玉藍・時田由美
書面：榎本薫・内川建・池田淑子

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
① 前回の課題について取り組みましたか？	人	3人	5人	1人	9人

前回の改善計画
①日常生活自立支援事業や成年後見制度の勉強会の実施と包括の事例検討会にてアドバイスもらう。
前回の改善計画に対する取組み結果
管理者が包括の事例検討会と成年後見の研修へ参加したが職員に対しての勉強会の実施ができなかった。本年度は包括の事例検討は事例提供者ではなかった。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
① 身体拘束をしていない	9人	人	人	人	9人
② 虐待は行われていない	9人	人	人	人	9人
③ プライバシーが守られている	4人	5人	人	人	9人
④ 必要な方に成年後見制度を活用している	人	1人	1人	7人	9人
⑤ 適正な個人情報の管理ができている	2人	7人	人	人	9人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・身体拘束・虐待防止に関しては委員会を中心に活動があり、毎月のモニタリングで項目を確認し、危険予防の為にセンサー使用も毎月チェックしている。 ・内部監査で個人情報の取扱いに関してより注意するように観察事項があげられ、PC入力をした後は必ず画面を閉じるようになった。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・成年後見は必要な方がいるが、ご家族の理解も含め申請が行われていない利用者がある。 ・施設内のデスクで個人情報のわかるものが開かれたまま席を立つこともある。情報の流出はなく守秘義務も守られているが ・不適切ケア報告書があるがうまくかつようできていない。 ・職員に対しての成年後見制度の勉強会ができていない	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
活動の継続と不適切ケア報告書を毎月会議にて提出しチームで議場にのせて考える時間を作る。成年後見が必要な方への活用を包括支援センターへも相談しながら導入を促す。	